

七条中学校だより9月13号

京都市立七条中学校

令和8年9月17日

発行:校長 林 秀雄

合唱の部に向けて2 Re Start

定期テスト期間が終わりました。テスト勉強のためにしばらく中断していた合唱練習が、シルバーウィーク明けから再開します。これまでの練習は3回行われました。歌詞を覚えたり、パートごとの音取りをしたりと、合唱の土台づくりを進めてきたことと思います。しかし、合唱の部本番までの練習回数は全部で10回。そのうち、すでに3回が終わっています。残された練習は決して多くありません。特に、9月24日の4回目の練習、そして25日の5回目の練習はとても大切です。さらに、29日には学年リハーサルがあり、学年全体の前で各クラスが合唱を披露します。皆さんのクラスの合唱は、今どのような状態でしょうか。歌詞はしっかり覚えていますか。自分のパートの音に自信をもって歌えますか。テスト期間をはさんだことで、せっかく覚えたことを忘れてしまっている人もいるかもしれません。この連休は、ぜひ「合唱モード」を取り戻す時間にしてほしいと思います。楽譜を見直し、歌詞を確認し、音源がある人は聴いてみる。ほんの少しの時間でも構いません。連休中に準備しておくことで、24日の練習を4回目にふさわしいものにすることができます。もし連休明けに、「歌詞を忘れた」「音が分からない」という状態で練習を始めると、練習が振り出しに戻ってしまいます。それでは、目前に迫った学年リハーサルで思うような合唱ができず、困ることになってしまいます。また、リハーサルは単に歌を披露する場ではありません。自分たちの合唱のよさや課題を見つけ、本番に向けてさらに高めていくための大切な機会です。そのためにも、各自がしっかり準備をして練習に臨むことが必要です。

合唱は、一人ではつくれません。一人ひとりが準備をして練習に臨むことで、クラス全体の合唱が少しずつ成長していきます。そして、その積み重ねが本番の感動につながります。声を合わせることは、心を合わせることであります。お互いの声を聴き合い、励まし合いながら練習を重ねることで、合唱だけでなく学級集団としてのまとまりも生まれてきます。定期テストが終わった今、次の目標は七中祭です。体育の部、合唱の部、それぞれの場面で皆さんが力を発揮できるよう、これからの一回一回の練習を大切にしてください。「まだ10回ある」ではなく、「あと7回しかない」。そんな気持ちで、一つ一つの練習を積み重ね、クラスみんなでよりよい合唱を創り上げていきましょう。そして本番では、これまでの努力の成果を存分に発揮し、聴いている人の心に響く合唱を届けてくれることを期待しています。

生徒会選挙に向けて考えてほしいこと

後期生徒会役員選挙に、多くの皆さんが立候補してくれました。七条中学校をより良くしたいという思いをもって挑戦してくれたことを、大変頼もしく思います。

今では、SNSや動画配信などを通して、自分の考えや活動を多くの人に伝えることができるようになりました。その一方で、情報が一部だけ切り取られて広まったり、事実とは異なる内容が拡散されたり、特定の人を応援や批判をするために使われたりすることもあります。SNSは便利な道具ですが、使い方によっては人の考えや判断に大きな影響を与える力を持っています。

それでは、これから行われる七条中学校の生徒会選挙においては、どのように考えればよいのでしょうか。生徒会選挙は、人気投票ではありません。また、誰かを負かすためのものでもありません。生徒会は、生徒の皆さんが自分たちの学校生活をより良くしていくための組織です。そして、その中心となって活動する人を生徒自らが選ぶ大切な機会です。だからこそ、選挙は公平でフェアなものでなければなりません。

ここで皆さんに考えてほしいことがあります。もしSNSで「〇〇さんに投票してほしい」と呼びかけたり、友達同士で投票先についてやり取りしたり、あるいは特定の候補者について良くない内容を書き込んだりしたら、それは公平な選挙と言えるでしょうか。SNSは便利な反面、その情報が一気に広がります。また、一度発信した内容は多くの人に影響を与えます。中には、その場にいない人や、自分の考えを十分に伝える機会がない人が不利になる場合もあります。大切なのは、「どの候補者が自分たちの学校をより良くしてくれるのか」を、自分の目で見て、自分の耳で聞き、自分の頭で考えて判断することです。演説を聞く。公約を読む。候補者の考えや思いを知る。そして、自分なりに考えて一票を投じる。それが民主的な社会の基本です。今回の生徒会選挙を通して、皆さんには単に投票するだけでなく、「公平な選挙とは何か」「責任ある一票とは何か」を考えてほしいと思います。七条中学校の生徒会選挙が、お互いを尊重しながら、自分たちの学校の未来を真剣に考える機会となることを期待しています。